

## V. 他動詞と目的語

### 1. 他動詞には目的語に作用しようとする性質がある

第3, 4, 5文型は他動詞で、目的語があります。目的語は、他動詞の動作の対象となるものです。日本語の「目的」の意味はありません。他動詞には(通常、他動詞の後にくる)目的語に作用しようとする性質があり、これを他動性(transitivity)といいます。日本語にも自動詞・他動詞がありますが、英語と日本語では大きく異なります。

I kick a ball.	英語は SVO 言語
S V O	
私は 蹴る ボールを …… 私は ボールを 蹴る	日本語は SOV 言語
S O V	

日本語の他動詞は、目的語となる名詞に「を、に」などの助詞を付けて他動性を補っています。英語の他動詞は、何の助けも借りずに、直接、目的語に働きかける力を持っています。これは、日本語が SOV 言語であるのに対して、英語は SVO 言語で、他動詞の後に目的語が来ることと無関係ではないように思われます。

日本語には  
英語の他動詞が無いんだ



ここ大事です (4)

なっとく! スタンプ



- ・日本語の他動詞は、助詞の助けを借りる
- ・英語の他動詞は、それ自身に、目的語に作用する力がある

「名詞＋形容詞句」と同様、「他動詞＋目的語」も日本語と語順が逆ですので、返り読みから脱却するためには、これに慣れることが必須です。

## 「返り読み脱却術」 極意その二




他動詞の目的語への作用を理解し、  
音読で「他動詞＋目的語」の語順に慣れる



文中に他動詞が出てきたとき、自然とその後の目的語を期待するくらいになれば英文読解がかなり楽になります。

### 2. 他動詞と目的語の関係を記号で示すことができる

動詞は文型を決めるほど重要です。名詞が文の骨格だとすると、動詞は筋肉です。文の中心とも言える動詞を○で囲むと文が見やすくなります。そのとき、**他動詞**は、目的語に作用する力を示すために右に角（矢印の意味合い）を付けるといいでしょう。すなわち、

自動詞は  で囲む  
他動詞は  の  で目的語に作用する力を示す

となります。さらに、**他動詞**が作用する目的語に下線を引くと、**他動詞**と目的語の関係が明確になります。第4文型では、間接目的語 (IO: indirect object) に二重下線を引き、直接目的語 (DO: direct object) に下線を引いて区別できます

She often laughs <sub>V</sub> 完全自動詞（第1文型）

I kicked the ball. <sub>V O</sub> 完全他動詞（第3文型）

I gave him some advice. <sub>V IO DO</sub> 完全他動詞（第4文型）

助動詞と動詞は、まとめて丸で囲みます。

You may go now.

I can hardly hear him.

She is running fast. be＋現在分詞（進行形）

He was hit [by a car]. be＋過去分詞（受動態，受身）

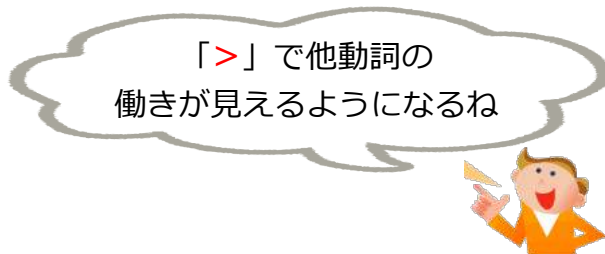
目的語が節である場合は、先頭の括弧に下線を付けます。

I know (that you are innocent).      that 節の例

He said, "I cycle to school every day."      引用は、形が明確なので  
下線は無くてもいい

他動性を「>」で示す方法は意外と便利で、英文でしばしば起こる、目的語が他動詞の前に位置する場合には、左端に角を付けるという手が使えます。

"Wash the dishes," said Mother.



### 3. 自動詞なのか他動詞なのかは形で決まる

主に自動詞として使われる動詞があります。主に他動詞として使われる動詞もあります。しかし、実際の文中でどちらなのかは、英語では、形で決まります。動詞の後に目的語があるかどうか、言い換えると、動詞の後に前置詞句ではなく名詞句あるいは名詞相当語句があれば他動詞です。

「他動詞＋目的語」の形を捉える  
目的語は、名詞句あるいは名詞相当語句

- ① 同じような意味で、自動詞としても他動詞としても使われる動詞  
I think (that you are wrong).      間違っていると思う (...ということを使う)  
I will think [about it].      それについては、考えておきます。
- ② 同じような意味だが、他動詞と自動詞の場合で、動作の主体が異なる動詞  
We cannot move this rock.      この岩を動かさない  
He is moving [around the world].      世界中を転々と動いている
- ③ 通常は他動詞だが、想定できる目的語が省略されて形の上で自動詞となる動詞  
Eat all of the vegetables.      野菜の全てを食べなさい  
We eat and drink [in the New Year holidays].      飲んで食べる
- ④ 本来自動詞だが、目的語に作用する意味合いが加わって、他動詞となる動詞  
We walked [along Kotsuki River].      甲突川に沿って歩いた  
I walked Tenmonkan Street.      天文館通 (のかなりの距離) を歩いた

主に他動詞として使われる動詞が英文中にあったとき、その後にくる目的語(書かれていても、省略されていても)を期待できるくらいになると、英語を読むのが楽になります。